



---

**First Response Training  
International®**

スタンダード&プロシージャーマニュアル

---

パート**2**：プロバイダースタンダード

**FIRST RESPONSE TRAINING INTERNATIONAL®**

firstresponse-ed.com

## 目次

<b>1.</b>	<b>大人と子供のエマージェンシーケア .....</b>	<b>1</b>
1.1	イントロダクション .....	1
1.2	修了者に与えられる資格.....	1
1.3	指導できるインストラクター .....	1
1.4	講習生とインストラクターの人数比.....	1
1.5	講習生参加前条件 .....	1
1.6	コース構成と時間 .....	2
1.7	事務手続き .....	2
1.8	トレーニング教材 .....	2
1.9	必須器材 .....	2
1.10	学科アウトライン .....	3
1.11	スキル達成条件と修了条件 .....	4
<b>2.</b>	<b>小児エマージェンシーケア .....</b>	<b>6</b>
2.1	イントロダクション .....	6
2.2	修了者に与えられる資格.....	6
2.3	指導できるインストラクター .....	6
2.4	講習生とインストラクターの人数比.....	6
2.5	講習生参加前条件 .....	6
2.6	コース構成と時間 .....	7
2.7	事務手続き .....	7
2.8	トレーニング教材 .....	7
2.9	必須器材 .....	7
2.10	学科アウトライン .....	8
2.11	スキル達成条件と修了条件 .....	9
<b>3.</b>	<b>職場でのCPR/AED .....</b>	<b>11</b>
3.1	イントロダクション .....	11

ファースト・レスポンス・トレーニング国際基準と手順  
パート2プロバイダー基準

---

3.2	修了者に与えられる資格.....	11
3.3	指導できるインストラクター.....	11
3.4	講習生とインストラクターの人数比.....	11
3.5	講習生参加前条件.....	11
3.6	コース構成と時間.....	12
3.7	事務手続き.....	12
3.8	トレーニング教材.....	12
3.9	必須器材.....	12
3.10	学科アウトライン.....	13
3.11	スキル達成条件と修了条件.....	14
<b>4.</b>	<b>血液媒介病原体.....</b>	<b>15</b>
4.1	イントロダクション.....	15
4.2	修了者に与えられる資格.....	15
4.3	指導できるインストラクター.....	15
4.4	講習生とインストラクターの人数比.....	15
4.5	講習生参加前条件.....	15
4.6	コース構成と時間.....	15
4.7	事務手続き.....	16
4.8	トレーニング教材.....	16
4.9	必須器材.....	16
4.10	学科アウトライン.....	16
4.11	スキル達成条件と修了条件.....	17
<b>5.</b>	<b>酸素管理コース.....</b>	<b>18</b>
5.1	イントロダクション.....	18
5.2	修了者に与えられる資格.....	18
5.3	指導できるインストラクター.....	18
5.4	講習生とインストラクターの人数比.....	18
5.5	講習生参加前条件.....	18

ファースト・レスポンス・トレーニング国際基準と手順  
パート2プロバイダー基準

5.6	コース構成と時間 .....	18
5.7	事務手続き .....	19
5.8	トレーニング教材 .....	19
5.9	必須器材 .....	19
5.10	学科アウトライン .....	19
5.11	スキル達成条件と修了条件 .....	20

**改訂履歴**

改訂 ナンバー	日付	変更
0918	08/03/2018	最初の基準。
0519	05/21/2019	変更なし
0120	01/01/2020	2.3& 3.3 「成人および小児救急ケア指導員」に変更。 1.7, 2.7, 3.7, 4.7,& 5.7 項目 4a が削除され、以降の項目が番号変更された。
0121	01/01//2021	変更なし
0221	02/01/2021	変更なし
0122	01/01/2022	変更なし
0123	08/25/2022	変更なし
0124	01/01/2024	5.11 注 - 誤字を修正

# 1. 大人と子供のエマージェンシーケア

## 1.1 イントロダクション

このコースは、心肺蘇生法（CPR）、応急処置、および自動体外式除細動器（AED）の使用を1つのプログラムに組み合わせたものです。

CPRを安全に管理し、応急処置を修正し、幼児、小児、および大人が関わる緊急事態でAEDを利用するための適切な技術を大人と未成年者に教えるように設計されています。

## 1.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は以下のことができるようになります：

1. 緊急事態と被害者を認識し、評価する。
2. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
3. 呼吸をしていない人や怪我をした人に対して、1人で幼児、小児、成人の心肺蘇生ができ、適切な応急処置ができる。
4. 自動体外式除細動器（AED）を正しく使用する。

2年ごとに再資格取得コースが必要であることを理解することが重要である。

## 1.3 指導できるインストラクター

1. 現役のファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル成人・小児救急ケア・インストラクターであれば、誰でもこのコースを教えることができる。

## 1.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。
2. CPRコンポーネントの場合、マネキンと講習生の最大比率は5：1です。

## 1.5 講習生参加前条件

1. 18歳以上、保護者の同意がある場合は10歳以上

## 1.6 コース構成と時間

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルでは、インストラクターが参加生徒の人数やスキルレベルに応じてコースを構成することができます。
2. 推奨トレーニング時間は8時間

## 1.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
  - a. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル受講生追跡シート。

この専門課程を修了した場合、インストラクターは次のことをしなければならない：

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの登録用紙をファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル本部に提出するか、できればファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルのウェブサイトの会員エリアからオンラインで受講者を登録することにより、適切なファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの認定証を発行する。

## 1.8 トレーニング教材

必要な素材：

1. *First Response Training International Adult and Child Emergency Care* 生徒用マニュアルまたはeラーニングコース。
2. ファースト・レスポンス・トレーニング・インストラクター・ガイド

## 1.9 必須器材

学生に最低限必要な用具は以下の通り：

1. マネキン - 幼児用と成人用。
2. 自動体外式除細動器（AED）、取扱説明書、トレーニングユニット（利用可能な場合）。
3. 基本的な応急処置トレーニング用品。
4. 止血帯または止血帯材料。

## 1.10 学科アウトライン

下記のトピックをコース中にカバーしなければならない。インストラクターは、これらのトピックのプレゼンテーションに役立つと思われる追加のテキストまたは教材を使用できる。

1. 応急処置とは何か。
2. 心肺蘇生法（CPR）：
  - a. 心肺蘇生のタイミング
  - b. 圧迫と人工呼吸。
  - c. 個人用保護具。
  - d. 心肺蘇生を行う：
    - i. シーンの評価
    - ii. 救急医療サービスの開始。
    - iii. 圧迫、気道、呼吸（CAB）。
    - iv. 圧縮プロトコル。
    - v. 換気プロトコル。
    - vi. チームCPR
3. ファーストエイドの定義
4. 個人用保護具（PPE）。
5. いつ、どのように応急処置をしなければならないか。
6. 負傷と現場の評価
7. 「6つの基本」を評価する：
8. 呼吸あり（なし）=CPR。
9. ブリーディング=圧力。
10. 骨折=動けなくする。
11. 火傷=クール。
12. バイト=カバー。
13. 打撃=観る。
14. 窒息だ：
15. 気道閉塞のレベル。
16. 治療方法

17. 子供に対する特別な配慮。
18. 自動体外式除細動器（AED）。
19. いつ使うか。
20. 使用方法
21. 幼児・子供。
22. 大人だ。
23. AEDのメンテナンスと保管。
24. AEDに関する規則。
25. 神経学的：
26. フィールドテストの実施
27. 結果を記録する
28. テストを繰り返す。
29. 素人救助者のための外傷後の考察。

**注意：** AED を適切に使用するには、製造元のマニュアルに従う必要があります

## **1.11 スキル達成条件と修了条件**

インストラクターは、以下のすべてのスキルを教え、評価することが求められる：

1. 現場への立ち入りと評価
2. マネキンに一人でCPR（心肺蘇生法）を行う：
3. 圧迫、気道、呼吸（CAB）。
4. 応急処置：「6つの基本」それぞれについて、模擬的な傷害を処置する：
5. 呼吸あり（なし）=CPR。
6. ブリーディング=圧力。
7. 骨折=動けなくする。
8. 火傷=クール。
9. バイト=カバー。
10. 打撃=観る。
11. AEDを配備し、指示に従って使用する。

**このコースを修了するには**



1. 応急手当、心肺蘇生、AEDの使用について理解を示す。
2. 緊急事態を認識し、評価する。
3. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
4. CPR（心肺蘇生法）、AED（自動体外式除細動器）の使用、呼吸している人または呼吸していない人への酸素投与ができる。
5. 2つの模擬負傷に対する応急処置ができる。
6. フィールド神経学的検査を実施し、所見を記録する。
7. 最終試験を完了する。

注：認定は2年間有効で、更新が必要。

## 2. 小児エマージェンシーケア

### 2.1 イントロダクション

このコースは、心肺蘇生法（CPR）、応急処置、および自動体外式除細動器（AED）の使用を1つのプログラムに組み合わせたものです。CPRを安全に管理し、応急処置を修正し、幼児、小児、および大人が関わる緊急事態でAEDを利用するための適切な技術を大人と未成年者に教えるように設計されています。

### 2.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は以下のことができるようになります：

1. 緊急事態と被害者を認識し、評価する。
2. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
3. 呼吸停止または負傷者に、1人の幼児、小児、および成人のCPRを提供し、適切な応急処置を行うことができます。
4. 自動体外式除細動器（AED）を正しく使用する。

2年ごとに再資格取得コースが必要であることを理解することが重要である。

### 2.3 指導できるインストラクター

1. 現役のファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル成人・小児救急ケア・インストラクターであれば、誰でもこのコースを教えることができる。

### 2.4 講習生とインストラクターの人数比

#### 学科

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。
2. CPRコンポーネントの場合、マネキンと講習生の最大比率は5：1です。

### 2.5 講習生参加前条件

1. 18歳以上、保護者の同意がある場合は10歳以上

## 2.6 コース構成と時間

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルでは、インストラクターが参加生徒の人数やスキルレベルに応じてコースを構成することができます。
2. トレーニング時間の目安は6時間。

## 2.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
  - a. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル受講生追跡シート。

コース修了後、インストラクターは以下を実施すること：

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの登録用紙をファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル本部に提出するか、できればファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルのウェブサイトの会員エリアからオンラインで受講者を登録することにより、適切なファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの認定証を発行する。

## 2.8 トレーニング教材

必要な素材：

1. *First Response Training International Adult and Child Emergency Care* 生徒用マニュアルまたはeラーニングコース。
2. ファースト・レスポンス・トレーニング・インストラクター・ガイド

## 2.9 必須器材

学生に最低限必要な用具は以下の通り：

1. マネキン - 幼児用と成人用。
2. 自動体外式除細動器（AED）、トレーニングユニット（利用可能な場合）の所有者のマニュアル
3. 基本的な応急処置トレーニング用品。

4. 止血帯または止血帯材料。

## 2.10 学科アウトライン

下記のトピックをコース中にカバーしなければならない。指導者は、これらのトピックの提示に役立つと思われるテキストや資料を追加で使用してもよい。

1. 小児エマージェンシーケアとは何ですか？
2. 心肺蘇生法（CPR）：
3. 心肺蘇生のタイミング
4. 圧迫と人工呼吸。
5. 個人用保護具。
6. 心肺蘇生を行う：
7. シーンの評価
8. 救急医療サービスの開始。
9. 圧迫、気道、呼吸（CAB）。
10. 圧縮プロトコル。
11. 換気プロトコル。
12. チームCPR
13. ファーストエイドの定義
14. 個人用保護具。
15. いつ、どのように応急処置をしなければならないか。
16. 負傷と現場の評価
17. 「6つの基本」を評価する：
18. 呼吸あり（なし）=CPR。
19. ブリーディング=圧力。
20. 骨折=動けなくする。
21. 火傷=クール。
22. バイト=カバー。
23. 打撃=観る。
24. 窒息だ：

25. 気道閉塞のレベル。
26. 治療方法。
27. 子供に対する特別な配慮。
28. 自動体外式除細動器（AED）：
29. いつ使うか。
30. 使用方法
31. 幼児/小児
32. AEDのメンテナンスと保管。
33. AEDに関する規則。
34. 神経学的：
35. フィールドテストの実施
36. 結果を記録する
37. 繰り返しテスト

注：AED を適切に使用するには、製造元のマニュアルに従う必要があります

## 2.11 スキル達成条件と修了条件

インストラクターは、以下のすべてのスキルを教え、評価することが求められる：

1. 状況への対応と評価
2. マネキンに一人でCPR（心肺蘇生法）を行う：
  - a. 圧迫、気道、呼吸（CAB）。
3. 応急処置：「6つの基本」それぞれについて、模擬的な傷害を処置する：
  - a. 呼吸あり（なし）＝CPR。
  - b. ブリーディング＝圧力。
  - c. 骨折＝動けなくする。
  - d. 火傷＝クール。
  - e. バイト＝カバー。
  - f. 打撃＝観る。
4. AEDを配備し、指示に従って使用する。

**このコースを修了するには**

1. 酸素投与、応急手当、CPR、AEDの使用について理解を示す。
2. 緊急事態を認識し、評価する。
3. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
4. 心肺蘇生とAEDの使用ができる。
5. 2つの模擬負傷に対する応急処置ができる。
6. フィールド神経学的検査を実施し、所見を記録する。
7. 最終試験を完了する。

注：認定は2年間有効で、更新が必要。

## 3. 職場でのCPR/AED

### 3.1 イントロダクション

このコースは、心肺蘇生法（CPR）、応急処置、および自動体外式除細動器（AED）の使用を1つのプログラムに組み合わせたものです。CPRを安全に管理し、応急処置を修正し、幼児、小児、および大人が関わる緊急事態でAEDを利用するための適切な技術を大人と未成年者に教えるように設計されています。

### 3.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は以下のことができるようになります：

1. 緊急事態と被害者を認識し、評価する。
2. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
3. 呼吸停止または負傷者に、1人の幼児、小児、および成人のCPRを提供し、適切な応急処置を行うことができます。
4. 自動体外式除細動器（AED）を正しく使用する。

2年ごとに再資格取得コースが必要であることを理解することが重要である。

### 3.3 指導できるインストラクター

1. 現役のファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル成人・小児救急ケア・インストラクターであれば、誰でもこのコースを教えることができる。

### 3.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。
2. CPRコンポーネントの場合、マネキンと講習生の最大比率は5：1です。

### 3.5 講習生参加前条件

1. 18歳以上、保護者の同意がある場合は10歳以上

### 3.6 コース構成と時間

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルでは、インストラクターが参加生徒の人数やスキルレベルに応じてコースを構成することができます。
2. トレーニング時間の目安は3時間。

### 3.7 事務手続き

#### 管理業務：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
  - a. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル受講生追跡シート。

#### コース修了後、インストラクターは以下を実施すること：

1. *First Response Training International* 登録フォーム を *First Response Training International* 本部に提出するか、できれば *First Response Training* のメンバーエリアを通じてオンラインで講習生を登録することにより、適切な *First Response Training International* ウェブサイトにて認定を発行してください。

### 3.8 トレーニング教材

#### 必要な素材：

1. *First Response Training International* ワークプレイス CPR/AED スチューデントマニュアルもしくは eラーニングコース
2. 初動訓練インストラクターガイド

### 3.9 必須器材

講習生の最小装備要件は次のとおりです：

1. マネキン - 幼児用と成人用。
2. 自動体外式除細動器（AED）（取扱説明書付き）。



### 3.10 学科アウトライン

下記のトピックをコース中にカバーしなければならない。インストラクターは、これらのトピックのプレゼンテーションに役立つと思われる追加のテキストまたは教材を使用できる。

1. 心肺蘇生法（CPR）：
2. 心肺蘇生のタイミング
3. 圧迫と人工呼吸。
4. 個人用保護具。
5. 心肺蘇生を行う：
6. シーンの評価
7. 救急医療サービスの開始。
8. 圧迫、気道、呼吸（CAB）。
9. 圧縮プロトコル。
10. 換気プロトコル。
11. チームCPR
12. 窒息だ：
13. 気道閉塞のレベル。
14. 治療方法。
15. 子供に対する特別な配慮。
16. 自動体外式除細動器（AED）：
17. いつ使うか。
18. 使用方法
19. 幼児・子供。
20. 大人だ。
21. AEDのメンテナンスと保管。
22. AEDに関する規則と規制
23. 一般救助者のための外傷後の考慮事項

注：AEDを正しく使用するためには、メーカーのマニュアルに従う必要があります。

### 3.11 スキル達成条件と修了条件

インストラクターは、以下のすべてのスキルを教え、評価することが求められる：

1. 現場への立ち入りと評価
2. マネキンに一人でCPR（心肺蘇生法）を行う：
  - a. 圧迫、気道、呼吸（CAB）。
3. AEDを配備し、指示に従って使用する。

このコースを完了するには、講習生は以下のことを行う必要があります：

1. 心肺蘇生法とAEDの使用法を理解する。
2. 緊急事態を認識し、評価する。
3. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
4. 心肺蘇生とAEDの使用ができる。
5. 最終試験を完了する。

注：認定は2年間有効であり、更新する必要があります

## 4. 血液媒介病原体

### 4.1 イントロダクション

このコースは、血液感染予防についてユーザーに教えることを目的としています。血液感染予防を内容として含まない他のFirst Response Training Internationalの応急処置コースと組み合わせることができます。

### 4.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は以下のことができるようになる：

1. 考えられる感染源を特定します。
2. 適切なレベルの個人用保護具を使用して、感染性の可能性がある素材に対処します。
3. 感染した可能性のある材料の領域を処分し、洗浄します

2年ごとに再資格取得コースが必要であることを理解することが重要である。

### 4.3 指導できるインストラクター

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの現役の血液媒介病原体インストラクターであれば、このコースを教えることができる。

### 4.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

### 4.5 講習生参加前条件

1. 18歳以上、保護者の同意がある場合は10歳以上

### 4.6 コース構成と時間

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルでは、インストラクターが参加生徒の人数やスキルレベルに応じてコースを構成することができます。

2. 推奨トレーニング時間は2時間

## 4.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
  - a. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル受講生追跡シート。

コース修了後、インストラクターは以下を実施すること：

1. *First Response Training International*本部に*First Response Training International Registration Form*を提出するか、*First Response Training International*ウェブサイトの会員エリアからオンラインで受講者を登録することにより、適切な*First Response Training International*認定証を発行する。

## 4.8 トレーニング教材

必要な素材：

1. *First Response Training International* 血液感染予防 マニュアルもしくはeラーニングコース
2. ファースト・レスポンス・トレーニング・インストラクター・ガイド

## 4.9 必須器材

クラスルーム・プログラムを修了する生徒に最低限必要な設備は以下の通り：

1. 生徒に合ったサイズの手袋。
2. CPRバリア。

## 4.10 学科アウトライン

下記のトピックをコース中にカバーしなければならない。インストラクターは、これらのトピックのプレゼンテーションに役立つと思われる追加のテキストまたは教材を使用できる。

1. 病原体との契約：
  - a. 存在感がある。

- b. 数量。
  - c. 感受性。
  - d. エントリールート
2. 感染の予防：
- a. 個人保護具（PPE）。
  - b. PPEの適切な使用。
  - c. 衛生管理、ハウスキーピング。
3. 感染の可能性のある物質の取り扱い：
- a. PPEの廃棄。
  - b. 表面の消毒。
4. 暴露に対する反応：
- a. 感染の可能性のある部位の洗浄。
  - b. 報告手続き。
5. 一般救助者のための外傷後の考慮事項

#### **4.11 スキル達成条件と修了条件**

インストラクターは、以下のすべてのスキルを教え、評価することが求められる：

- 1. PPEの着脱。
- 2. バイオハザード物質の適切な取り扱い。
- 3. 報告書の暴露

このコースを完了するには、講習生は以下のことを行う必要があります：

- 1. 必要なコーススキルを実証する。
- 2. 最終試験を完了する。

注：認定は2年間有効で、更新が必要。

## 5. 酸素管理コース

### 5.1 イントロダクション

このコースは、緊急時の酸素（O<sub>2</sub>）投与を学ぶことを目的としている。酸素管理を内容として含まない他のFirst Response Training Internationalの応急処置コースと組み合わせることができます。

### 5.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は以下のことができるようになる：

1. 緊急事態と被害者を認識し、評価する。
2. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
3. 呼吸している人、していない人に酸素吸入ができる。

2年ごとに再資格取得コースが必要であることを理解することが重要である。

### 5.3 指導できるインストラクター

1. 現役のファースト・レスポンス・トレーニング国際酸素投与インストラクターであれば、誰でもこのコースを教えることができる。

### 5.4 講習生とインストラクターの人数比

学科

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

### 5.5 講習生参加前条件

1. 18歳以上、保護者の同意がある場合は10歳以上

### 5.6 コース構成と時間

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルでは、インストラクターが参加生徒の人数やスキルレベルに応じてコースを構成することができます。
2. 推奨トレーニング時間は2時間

## 5.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
  - a. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル受講生追跡シート。

この専門課程を修了した場合、インストラクターは次のことをしなければならない：

1. First Response Training International本部にFirst Response Training International Registration Formを提出するか、First Response Training Internationalウェブサイトの会員エリアからオンラインで受講者を登録することにより、適切なFirst Response Training International認定証を発行する。

## 5.8 トレーニング教材

必要な素材：

1. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル酸素投与学生マニュアルまたはeラーニングコース。
2. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル酸素投与インストラクターガイド。

## 5.9 必須器材

学生に最低限必要な用具は以下の通り：

1. 酸素（O2）ボンベとレギュレーター、および適切な供給装置。
2. バリアと個人保護具

## 5.10 学科アウトライン

下記のトピックをコース中にカバーしなければならない。指導者は、これらのトピックの提示に役立つと思われるテキストや資料を追加で使用してもよい：

1. 緊急酸素：
  - a. いつ酸素を供給しますか？
  - b. 呼吸をしていない被災者に酸素を供給する：

- i. 心肺蘇生中の酸素投与方法。
  - c. 呼吸用酸素：
    - i. 非呼吸式マスク。
    - ii. デマンドバルブマスク。
  - d. 酸素の安全性と取り扱い。
  - e. 酸素投与に関する法令
2. 素人救助者のための外傷後の考察。

## 5.11 スキル達成条件と修了条件

インストラクターは、以下のすべてのスキルを教え、評価することが求められる：

1. 現場への立ち入りと評価
2. 緊急用酸素：
  - a. 酸素シリンダーのセットアップと使用
  - b. さまざまな種類のマスクの使用

このコースを完了するには、講習生は以下のことを行う必要があります：

1. 酸素投与について理解を示す。
2. 緊急事態を認識し、評価する。
3. 救急医療サービス(EMS)を作動させる、または警告する方法を知っている。
4. 呼吸している人、していない人に酸素を投与できる。
5. 最終試験を完了する。

注：認定は2年間有効で、更新が必要。